キャラクター名
水鏡 花月(ﾐｽﾞｶｶﾞﾐ ｶｽﾞｷ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	感染	衝動	殺戮	初期侵食率	34 %
出自	姉妹	経験	記憶喪失	邂逅	UGN

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	0	1		1
感覚	0	1	0			1
精神	6	0	0			6
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：映画編集	1		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ボルトアクションライフル	射撃	1r+2	-	8		ﾏｲﾅｰ使用で達成値+5
		0				
表裏反転の業"ペルソナ"	射撃	11r+7	-	29		C-2 達成値+5 同ｴﾝｹﾞｰｼﾞ攻撃可能
┗侵蝕率100%以上	射撃	15r+7	-	32		C-3 達成値+5 同ｴﾝｹﾞｰｼﾞ攻撃可能

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
思い出の一品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
対抗種"カウンターレネゲイド"	P	N		
姉：侑李(ﾕｳﾘ) color：RE	P 幸福感	N 疎外感		
UGN color：PU	P 尽力	N 恐怖		
ｼﾅﾘｵ：夢売り"ブラックシープ"	P 興味	N 脅威		
PC間：安曇 光希(ｱｽﾞﾐ ﾐﾂｷ)	P 友情	N 不安		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ：ノイマン	2	2	ﾒｼﾞｬｰ				-	
効果： C値-LV 下限値7								
コントロールソート	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	-	
効果： <射撃>選択 判定を【精神】に変更								
生き字引	1	1	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	-	-	
効果： 情報判定を<意志>へ変更 情報ﾀﾞｲｽ+LV								
ブラックマーケット	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 常備化P+[LV*10] 基本侵蝕率+2								
零距離射撃	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	至近	-	対決	-	
効果： ﾀﾞｲｽ+LV 射程:至近へ変更 同ｴﾝｹﾞｰｼﾞ攻撃可能								
バレットワルツ	7	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	リミット	
効果： 攻+[LV*3]								
完全演技	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果： 完全に演技する								
無面目	1	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果： ｵｰｳﾞｧｰﾄﾞ特有の反応を消す <知覚>+Lv								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

美浜島に住む高校生。映画部所属で主に備品や撮影を行っている裏方。
冷静沈着で穏やか。丁寧な言葉で話し、頭も良く、周りの大人に頼られている。
……のは表の顔で、映画部メンツの前では結構お茶目。敬語が消える。てか、真面目でいると二人の性格上疲れる。実際そうだった。
映画部の備品管理をほぼ一手に担っているので、いつも撮影用機材などが入っている鞄を持ち歩いている。大荷物。重い。
本人は絵に映るのが苦手だと言って役者をすることが少ないが、役者不足で駆り出されるのがほぼ毎回。なのでもはや慣れた。本音を言うと、役者で生き生きしている二人を撮っている方が楽しい。

本来はこの島出身ではなく、中学2年の秋頃、外からやってきた。
幼い頃に何かしらに巻き込まれ、レネゲイドに感染して覚醒した。……ということになっているが、本人にその時の記憶がないのでよくわからない。
その時にUGNに姉"共々"保護されたらしい。残念ながら、両親は亡くなってしまった、らしい。姉は"無事"だったらしく、保護され今では別の所で暮らしているらしい。たまに手紙が届く。
本当に幼い頃だったので、今の姉がどんな姿をしているのかわからない。一度写真を強請ったことがあるが、手紙ですらUGNの職員に無理を言って許可してもらっていて、バレてしまったらどちらにも危害が加わるから、と手紙で諭された。以後は言いつけを守っている。

美浜島に来る前は、本土の方でUGN所属の暗部にいた。
ノイマンだからこそできる演技と、対抗種としての"殺しつくす"力。それら2つを持って、UGNを裏切ったオーヴァードの処理を任されていた。
相手を騙す為に身に着けた術と、油断させるための長物の銃。そのどれもは、保護してくれたUGNに恩を返す為。
今はテレーズや霧谷の引き抜きがあって暗部から島へ異動しているが、それらの技術は今でも身に沁みついている。

「ピュアブリードのノイマンは膨大な脳処理の為、短命である」とよく言われるが、彼も例外ではない。それに加えて、対抗種としての力も持っているので、成人は迎えられないだろうとUGNの研究者と医療班は花月に余命宣告をしている。
本人はそれを受け止め、日々を過ごしている。映画部の二人には話してない。